

故・陣内正敬先生略歴

1954年3月8日	佐賀県杵島郡北方町(現・武雄市)にて誕生
1972年3月	佐賀県立武雄高等学校卒業
1973年4月	九州大学理学部生物学科入学
1977年3月	九州大学理学部生物学科卒業(理学士)
1977年4月	九州大学大学院文学研究科修士課程言語学専攻入学
1980年3月	同 修了(文学修士)
1980年4月	九州大学大学院文学研究科博士課程言語学専攻入学
1982年3月	同 中退
1982年4月	九州大学助手(文学部)
1985年11月	九州大学助教授(教養部)
1988年4月	九州大学助教授(言語文化部)
1995年4月	関西学院大学助教授(総合政策学部)
1997年4月	関西学院大学教授(総合政策学部)
1999年4月	関西学院大学大学院総合政策研究科教授
2005年11月	博士(文学)(大阪大学)取得
2007年4月	関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化研究科教授
2012年10月6日	逝去

役 職

2002年4月～ 2007年3月	言語コーディネータ(日本語)
2003年4月～ 2007年3月	日本語教育委員会委員長
2010年4月～ 2011年3月	日本語教育センター設置準備室長
2011年4月～ 2012年3月	日本語教育センター長

学外出講

1996年10月	大阪大学文学部(社会言語学特殊講義)(1997年3月まで)
1998年10月	山口大学人文学部(社会言語学)(1999年3月まで)
1999年10月	愛知教育大学教育学部(言語生活)(2000年3月まで)
2001年2月	北京日本学研究中心センター客員教授(国際交流基金派遣)(2001年7月まで)

- 2003年10月 東北大学大学院文学研究科(日本語構造論特論)(2004年3月まで)
 2005年8月 東京外国語大学外国語学部(社会言語学特論)(2006年3月まで)
 2005年12月 大阪大学大学院文学研究科(社会言語学特殊講義)(2006年3月まで)
 2007年3月 蘇州大学外国語学院日本語科(日本語学講義)

学会及び社会における活動等

- 1983年4月 日本語学会会員(2012年10月まで)
 1990年4月 日本言語学会会員(2012年10月まで)
 1991年4月 日本語教育学会会員(2012年10月まで)
 1997年10月 社会言語科学会会員(2012年10月まで)
 1998年4月 日本語教育能力検定試験出題委員(日本学生支援機構)(2000年3月まで)
 1998年6月 日本語学会編集・大会運営委員(日本語学会)(2001年5月まで)
 1999年10月 文化庁「国語に関する世論調査」調査検討委員会委員(国立国語研究所)(2000年3月まで)
 2002年7月 「外来語委員会」委員(国立国語研究所)(2006年5月まで)
 2004年4月 『日本語教育』査読協力委員(日本語教育学会)(2012年10月まで)
 2005年4月 文化審議会国語部会臨時委員(文化庁)(2007年2月まで)
 2005年5月 日本方言研究会世話人(2012年10月まで)
 2008年4月 兵庫県立三田祥雲館高等学校評議員(兵庫県教育委員会)(2012年10月まで)
 2009年4月 社会言語科学会理事、同編集委員(2012年10月まで)

教科書・教材

- 1994年12月 『日常会話の表現文型と語彙－日本語上級視聴覚教材－』
 (共著、九州大学言語文化部)
 1995年8月 社会言語学の方法(共著、시사일본어사)
 2002年11月 社会语言学概论(共著、上海譯文出版社)
 2003年4月～ 評論文「カタカナ抜きで話せますか」文部科学省中学校
 国語検定教科書「新しい国語2」(東京書籍)
 2010年3月 『時事外来語で日本理解』(共著、関西学院大学出版会)

著 書

- 1992年11月 社会言語学 共著 おうふう
 1996年2月 北部九州における方言新語研究 単著 九州大学出版会
 1996年8月 地域語の生態シリーズ 九州篇 地方中核都市方言の行方 単著 おうふう

1997年1月	日本のことばシリーズ40 福岡県のことば	単著	明治書院
1998年11月	日本語の現在	単著	アルク
2002年2月	カタカナ語・略語に強くなる本	共著	PHP研究所
2005年12月	関西方言の広がりとコミュニケーションの行方	共著	和泉書院
2006年6月	分かりやすく伝える 外来語言い換え手引き	共著	ぎょうせい(国立国語研究所「外来語」委員会編)
2007年6月	外来語の社会言語学－日本語のグローバルな考え方	単著	世界思想社
2007年10月	シリーズ方言学3 方言の機能	共著	岩波書店
2011年9月	県別罵詈雑言辞典(執筆:福岡・佐賀)	共著	東京堂出版(真田信治・友定賢治(編))
2011年7月	日本語文章・文体・表現事典(項目執筆者)	共著	朝倉書店(中村明他編)
2012年10月	外来語研究の新展開	共著	おうふう

訳 書

2000年10月	生きたことばをつかまえる－言語変異の観察と分析 レズリー・ミルロイ著 (原著: Milroy, L. 1987. Observing & Analyzing Natural Language: A Critical Account of Sociolinguistic Method. Blackwell Publishers.)	共訳	松柏社
----------	---	----	-----

学術論文

1980年3月	Verb Morphophonology of Engadin Bassa (英文)	単著	『九大言語学研究室報告』 1号 九州大学
1981年4月	九州方言に見られる母音語幹動詞のラ行子音語幹化について	単著	『九大言語学研究室報告』 2号 九州大学
1982年3月	新方言「下手(へた)い」について－福岡市方言の形容詞活用	単著	『九大言語学研究室報告』 3号 九州大学
1983年3月	方言使用の地域差・男女差－人口急増都市・福岡にみられる言語接触	単著	『九大言語学研究室報告』 4号 九州大学
1984年2月	博多方言名詞アクセントの年代差	共著	『文学研究』 81号 九州大学文学部
1984年3月	方言社会における言語使用の多様性の測定	単著	『九大言語学研究室報告』 5号 九州大学
1985年3月	方言意識と方言使用の世代差	単著	『文学研究』 82号 九州大学文学部
1985年3月	Différences entre groupes d'âge dans la conscience et l'emploi des mots dialectaux (仏文)	単著	『九大言語学研究室報告』 6号 九州大学
1986年2月	日本語の呼び掛け語	単著	『文学研究』 83号 九州大学文学部
1986年3月	九州若年層の各地方言観	単著	『カウンセリング学科論集』 2号 九州大学

- | | | | |
|-----------------|------------------------------------|----|--|
| 1986年3月 | 日本のポップソングに見られる言語変容 | 単著 | 『九大言語学研究室報告』7号 九州大学 |
| 1987年3月 | 日本語教育教材としての「サザエさん」 | 単著 | 『カウンセリング学科論集』3号 九州大学 |
| 1988年3月 | 言語変種とスピーチスタイル | 単著 | 『日本語学』第7巻3号 明治書院 |
| 1989年2月 | 北部九州の新方言 | 単著 | 『九州方言の史的研究』奥村三雄(編) おうふう |
| 1989年3月 | 博多方言「しろしい」の意味記述 | 単著 | 『九大言語学研究室報告』10号 九州大学 |
| 1990年3月 | 語の意味・用法のゆれと意味変化－博多方言「しろしい」の場合－ | 単著 | 『国語学』160集 国語学会 |
| 1990年3月 | 『サザエさん』に見られる呼びかけ語 | 単著 | 『言語文化論究』1号 九州大学言語文化部 |
| 1991年3月 | 博多方言文末助詞「ト」の新用法と語彙拡散 | 単著 | 『九大言語学研究室報告』12号 九州大学 |
| 1991年12月 | 「来る」の方言用法と待遇行動 | 単著 | 『国語学』167集 国語学会 |
| 1992年1月 | 地方におけるガ行鼻音意識：関西と九州における大学生アンケート調査より | 単著 | 『言語文化論究』3号 九州大学言語文化部 |
| 1993年2月 | 「さじ」と「スプーン」：外来語化と命名のゆれ | 単著 | 『言語文化論究』4号 九州大学言語文化部 |
| 1994年3月 | 「さあ、どうでしょう・・・」－外国人にわかりにくい日本人の言語行動－ | 単著 | 『九大言語学研究室報告』第15号 九州大学 |
| 1994年3月 | 「ら抜き言葉」は外国人にどのように受け入れられているか | 共著 | 『言語文化論究』5号 九州大学言語文化部 |
| 1994年12月 | 方言新語発生のタイポロジー | 単著 | 『北海道方言研究会叢書5 ことばの世界』北海道方言研究会 |
| 1995年2月 | 中間方言の実態(特集 言語と言語の間) | 単著 | 『言語』24巻2号 大修館書店 |
| 1995年11月 | 地元意識と開放性の共存する都市方言 | 共著 | 『言語 95年11月号別冊(特集：変容する日本の方言)』24巻12号 大修館書店 |
| 1995年12月 | <対談>地域の言葉 第5回 方言から地域語へ、陣内正敬氏との対談 | | 『月刊日本語』12月号 アルク(宇佐美まゆみ著) |
| 1996年1月 | <対談>地域の言葉 第6回 地域語を共有する、陣内正敬氏との対談 | | 『月刊日本語』1月号 アルク(宇佐美まゆみ著) |
| 1996年3月 | 西日本方言の変容と関西方言 | 単著 | 『方言の現在』小林隆・篠崎晃一・大西拓一郎(編) 明治書院 |
| 1996年4月～1998年3月 | 日本語の現在 | 単著 | 『月刊日本語』連載 アルク |
| 1996年6月 | 言語生活(特集 平成6年・7年における国語学界の展望) | 単著 | 『国語学』185集 国語学会 |
| 1996年10月 | 「気づいた方言」報告(資料) | 単著 | 『九州方言研究会報告書』九州方言研究会 |
| 1997年10月 | 若者語 | 単著 | 『日本語学のみかた。』アエラムック30号 朝日新聞社 |
| 1997年6月 | 陣内正敬氏との対談より 『言葉は社会を変えられる』 | | 明石書店(宇佐美まゆみ編著) |
| 1997年11月 | 変わる役所言葉 | 単著 | 『月刊日本語』11月号 アルク |
| 1998年2月 | 今どきの言葉とつきあう(特集 言葉づかいて、なに?) | 単著 | 『母の友』537号 福音館書店 |

- | | | | |
|----------|---|----|--|
| 1998年11月 | 役所言葉－その新たな問題 | 単著 | 『研修のひろば』87号 東京都特別区職員研修所 |
| 1999年5月 | 地方の場合 九州・佐賀のあいさつことば
(特集 あいさつことばとコミュニケーション) | 単著 | 『国文学 解釈と教材の研究』44巻6号 学燈社 |
| 1999年11月 | 関西地方の地域方言と社会方言 | 単著 | 『日本語学11月臨時増刊号(特集 地域方言と社会方言)』第18巻13号 明治書院 |
| 2000年1月 | 20世紀の話し言葉－コミュニケーションの在り方が変化する時代、敬語・女性語・方言はどうなったか | 単著 | 『月刊日本語』1月号 アルク |
| 2000年2月 | 「役所言葉」の改善マニュアルと「役所カタカナ語」
(特集 マニュアルの言語学) | 単著 | 『日本語学』第19巻2号 明治書院 |
| 2000年7月 | 日本語学 | 単著 | 『高校生のための人気学問ガイド』 旺文社 |
| 2000年9月 | 現代外来語事情(特集 国際化時代のことば) | 単著 | 『教育と情報』510号 第一法規出版 |
| 2001年1月 | 脱規範時代の方言コミュニケーション
(特集 21世紀の日本語－何を変え、何を残すか) | 単著 | 『言語』30巻1号 大修館書店 |
| 2001年2月 | 文法現象の社会的多様性(特集 文法への新しい視点) | 単著 | 『国文学 解釈と教材の研究』46巻2号 学燈社 |
| 2001年3月 | 談話における敬意表現の社会的多様性 | 単著 | 『談話のポライトネス』国立国語研究所(編) 国立国語研究所 |
| 2001年8月 | 方言研究への招待(8)方言と共通語の使い分けを研究する | 単著 | 『言語』30巻9号 大修館書店 |
| 2002年6月 | ポライトネスの方言学 | 単著 | 『21世紀の方言学』日本方言研究会(編) 国書刊行会 |
| 2002年8月 | 鼻濁音の消失は言葉の乱れか | 単著 | 『言語』31巻9号 大修館書店 |
| 2003年7月 | 外来語の課題と将来像(特集 いまカタカナ言葉を考える) | 単著 | 『日本語学』第22巻8号 明治書院 |
| 2004年9月 | 関西方言・関西的コミュニケーションの広がりが意味するもの：全国6都市調査から | 共著 | 『社会言語科学』第7巻1号 社会言語科学会 |
| 2005年3月 | ほかし表現の二面性－近づかない配慮と近づく配慮 | 単著 | 『日本語社会における配慮の言語行動』国立国語研究所(編) 国立国語研究所 |
| 2005年11月 | 外来語の社会言語学的研究 | 単著 | 博士(文学)論文 大阪大学 |
| 2006年1月 | 方言の年齢差－若者を中心に(特集 若者の「方言」) | 単著 | 『日本語学』第25巻1号 明治書院 |
| 2006年1月 | リンクする「方言研究」
(日本語学会2005年度春季大会シンポジウム報告) | 共著 | 『日本語の研究』第2巻1号 日本語学会 |
| 2006年3月 | ほかし表現の二面性－近づかない配慮と近づく配慮 | 単著 | 『言語行動における「配慮」の諸相』国立国語研究所(編) くろしお出版 |
| 2006年6月 | バリアフリー社会の外来語 | 単著 | 『徳川宗賢先生追悼論文集 20世紀フィールド言語学の軌跡』変異理論研究会(編) 変異理論研究会 |
| 2006年11月 | 総合政策学部・日本語教育の10年 | 共著 | 『総合政策研究』24号 関西学院大学総合政策学部研究会 |
| 2007年1月 | いま、外来語について思うこと | 単著 | 『中学校国語 教室の窓』 東京書籍 |
| 2007年12月 | Dialect Boom in Japan (英文) | 単著 | Dialectologia et Geolinguistica 15 Mouton de Gruyter |

2008年3月	日本語学習者のカタカナ語意識とカタカナ語教育	単著	『言語と文化』11号 関西学院大学言語教育研究センター
2008年6月	「敬語の指針」についての補足・解説(特集 『敬語の指針』を考える)	単著	『日本語学』第27巻6号 明治書院
2008年7月	日本語教育における「カタカナ教育」の扱われ方	共著	『日本語教育』138号 日本語教育学会
2008年10月	言語行動としての高校野球・選手宣誓 －スポーツ言語文化論の事例研究－	単著	『語学教育フォーラム』16号 大東文化大学
2008年12月	言語研究の動向(9)－スポーツと言語行動・言語文化	単著	『言語』37巻12号 大修館書店
2010年3月	方言コミュニケーションの時代性と地域性	単著	『大阪樟蔭女子大学日本語研究センター報告』17号 大阪樟蔭女子大学日本語研究センター
2010年5月	ポライトネスの地域差	単著	『方言の発見 知られざる地域差を知る』小林隆・篠崎晃一(編) ひつじ書房
2010年8月	巻頭言 特集「日本社会の変容と言語問題」	共著	『社会言語科学』第13巻1号 社会言語科学会
2010年11月	多言語社会のコミュニケーション摩擦 －「曖昧性」という課題－	単著	『日本語学11月臨時増刊号(特集 言語接触の世界)』第29巻14号 明治書院
2011年11月	高校野球・選手宣誓の時代性	単著	『九州大学言語学論集』32号 九州大学

書 評

2010年3月	ニュータウン言葉の形成過程に関する社会言語学的研究	単著	『日本語の研究』第6巻2号 日本語学会
---------	---------------------------	----	---------------------

調査報告

1985年3月	都市化と方言	単著	昭和59年度文部省科学研究費補助金(奨励研究A)「都市化と方言(福岡市及びその近郊地域)研究成果報告書(課題番号: 59710264、研究代表者: 陣内正敬)
1990年3月	博多方言における老年層と若年層の『動詞句アクセント』(調査資料)	単著	平成元年度文部省科学研究費補助金(重点領域研究)「日本語音声における韻律的特徴－西日本における音声の収集と研究－」研究成果報告書『方言音調の諸相－西日本(1)』徳川宗賢(編)(課題番号: 01642007、研究代表者: 徳川宗賢)

1991年3月	博多方言の『形容詞』アクセントの世代差	単著	平成2年度文部省科学研究費補助金(重点領域研究)「日本語音声における韻律的特徴－西日本における音声の収集と研究－」研究成果報告書「方言音調の諸相－西日本(2)」徳川宗賢(編)(課題番号:02224107、研究代表者:徳川宗賢)
1992年3月	博多方言2拍名詞句アクセントの世代差・文体差・文脈差	単著	平成3年度文部省科学研究費補助金(重点領域研究)「日本語音声における韻律的特徴－西日本における音声の収集と研究－」研究成果報告書「方言音調の諸相－西日本(3)」徳川宗賢(編)(課題番号:03208107、研究代表者:徳川宗賢)
1992年9月	福岡市におけるアクセントの動態(資料):日本語音声における韻律的特徴 西日本における音声の収集と研究	共著	平成元年度～平成5年度文部省科学研究費補助金(重点領域研究)「日本語音声における韻律的特徴の実態とその教育に関する総合的研究」研究成果報告書(課題番号:04207116、研究代表者:杉藤美代子)
1994年3月	地方中核都市方言調査報告－福岡市・北九州市	単著	平成5年度文部省科学研究費補助金研究成果報告書(一般研究C)「地方中核都市における言語変容の実態と地域言語の将来－福岡市、北九州市及び両都市間地域－」研究成果報告書(課題番号:04610301、研究代表者:陣内正敬)
1997年3月	「道教え」談話にみる九州4都市方言の変容－北九州・福岡・熊本・鹿児島－	単著	平成7年度～平成9年度文部省科学研究費補助金(基盤研究A)「西日本におけるネオ方言の実態に関する調査研究」研究成果報告書「西日本におけるネオ方言の実態に関する調査研究」真田信治(編)(課題番号:07301047、研究代表者:真田信治)
1998年3月	行政とカタカナ語－全国役所言葉調査－	単著	平成9年度～平成10年度文部省科学研究費補助金(基盤研究C)「国際化・高齢化社会におけるカタカナ語－言語生態学的視点から－」研究成果報告書(課題番号:09610544、研究代表者:陣内正敬)
1998年3月	九州方言の新動向－九州5都市方言調査より－	単著	平成7年度～平成9年度文部省科学研究費補助金(基盤研究A)「西日本におけるネオ方言の実態に関する調査研究」研究成果報告書「九州におけるネオ方言の実態」真田信治(編)(課題番号:07301047、研究代表者:真田信治)

1999年3月	「役所カタカナ語」意識調査－役所・新聞社・高齢者・老人福祉・日本語教育関係者－	単著	平成9年度～平成10年度文部省科学研究費補助金(基盤研究C)「国際化・高齢化社会におけるカタカナ語－言語生態学的視点から－」研究成果報告書(課題番号：09610544、研究代表者：陣内正敬)
2000年5月	「国語に関する世論調査」問題別分析報告書		国立国語研究所「国語に関する世論調査」分析のための調査研究協力者会議
2002年3月	テレビ番組名の変遷－外来語化と話し言葉化－	単著	平成11年度～平成13年度文部省科学研究費補助金(基盤研究B)「現代日本語の音声・語彙・意味・文法・談話における変異と日本語教育」研究成果報告書『現代日本語の音声・語彙・意味・文法・談話における変異と日本語教育』日比谷順子(編)(課題番号：11480052、研究代表者：日比谷順子)
2003年3月	コミュニケーションの地域性と関西方言の影響力についての広域的研究 No.1 No.2 No.3	単著	平成12年度～平成14年度文部省科学研究費補助金(基盤研究B)「コミュニケーションの地域性と関西方言の影響力に関する広域的研究」研究成果報告書(課題番号：12410111、研究代表者：陣内正敬)
2009年3月	高校野球・選手宣誓に関する資料集	単著	平成19年度～平成20年度学術振興会科学研究補助金(基盤研究C)「戦後日本人のコミュニケーション行動の変容に関する実証的研究」研究成果報告書(課題番号：19520405、研究代表者：陣内正敬)
2012年1月	講演・研究論文集 日本人と日本語	単著	私家版

講演

1996年5月	第5回すっきゃねん若者ことばの会「九州の若者ことば－方言ラップに見る若者博多弁」		茨木市市民総合センター
1999年9月	ひょうご日本語教師連絡会議 第8回JLTN講演会「揺れる日本語の見方、付き合い方」		
1999年12月	国立国語研究所国際シンポジウム「談話のポライトネス」		国立国語研究所
2003年3月～ 2004年4月	「気になる言語塾」塾長		NHKラジオ
2004年11月	武庫川女子大学 第13回言語文化セミナー(国立国語研究所第23回ことばフォーラムと共催)「外来語とどう付き合うか」		武庫川女子大学
2009年7月	平成21年度大阪樟蔭女子大学公開シンポジウム「日本語のバリエーションをめぐって」		大阪樟蔭女子大学日本語研究センター
2009年7月	第5回日本語教育機関教員と留学生進学先教育機関の教育担当者との研究協議会パネルディスカッション「変化する大学 今、留学生に求められているもの」		日本学生支援機構 大阪日本語教育センター

2009年12月	長崎純心大学言語文化センター公開講座 「社会言語学と日本語教育」	長崎純心女子大学言語文化センター
2011年1月	ラジオ講座関西学院大学アイデアカプセル 「日本人と日本語」(全4回)	関西学院大学アイデアカプセル/ラジオNIKKEI